

今年新盆を迎えるご英霊を

お知らせします

一緒にご冥福をお祈りしましょう

編集・発行

天台宗 東圓寺

電話：84-4114

FAX：84-4104

東圓寺だより

平成24年 お盆号



平成24年新盆一覧(忍城山 東圓寺)

天野昭久	母	きく子	23年9月30日	(吉田)
大森藤太郎	母	ツヨ	9月30日	(小山)
渡辺一二子	夫	胤範	9月30日	
天野清史	父	清一	12月 7日	
天野友泰	養父	聖一	12月13日	
関 順和	父	元信	12月25日	
大森吉昌	母	国子	24年1月 2日	
天野正美	母	富代	1月18日	
天野忠博	父	与一	1月24日	
渡辺慶泰	母	千代江	1月29日	
長田 憲	祖父	十一	2月 6日	
大森九十九	父	清光	2月10日	(山中)
天野政好	父	芳造	3月16日	
天野和弘	妻	米子	4月24日	(船津)
大森昌代	夫	隆	4月24日	(山中)
大森康宏	母	承子	5月14日	(吉田)
大森一志	父	長明	5月23日	
長田昭平	養母	芳子	5月28日	(吉田)
出口秀信	姉	節子	5月31日	
小俣金近	母	かめ	6月10日	
天野光尊	父	光夫	6月17日	
大森秀春	父	秀種	6月23日	
高部利文	母	ハツ江	6月30日	(吉田)

光陰矢の如しといいますが、年を重ねる事に一年が短く感じるこの頃です。今年も残りの半年を切ってしまいました。昨年から全国的に水による大災害が起きております。忍草においても道路や住宅の冠水被害がありました。産業革命以後、科学万能主義や目先の便利だけを追い求めて、自分勝手に生きてきた人間に対して、地球が警鐘を鳴らしているのかもしれない。さて、檀信徒の皆様にはお変わりもなく健康のこととお喜び申し上げます。過日の披露宴では、多くの方々から温かいお祝いや励ましのお言葉を頂きました。誠に有難うございます。東圓寺の次の世代を担う若い弟子に対して、改めてご指導、ご助力の程、宜しくお願い申し上げます。

また、常日頃より皆様の菩提寺、東圓寺に対しての暖かいお心遣いやご協力に、衷心より感謝申し上げます。これからも任職・檀徒総代をはじめ檀信徒の皆様と協力して、お寺のさらなる発展を目指し努力を重ねますのでご支援宜しくお願い申し上げます。

合掌

仏参金納入のお願い

諸事情により仏参金は、例年通りとさせていただきます。何卒宜しくお願い申し上げます。

～仏参金納入口座のお知らせ～

振込口座

記号10800 番号6654231

口座名 トウエンジ 又は 東圓寺

※キャッシュカードでの振り込みですと、

手数料が掛かりません。

山梨中央銀行

忍野支店 口座 普通

121086 東圓寺

平成24年春彼岸より

平成24年7月末日までの
寄進者芳名

平成24年6月吉日

為 慈眼妙芳大姉菩提供養

客殿用座布団二十五枚

東圓寺寺紋入五条袈裟

長田昭平殿

観音堂再建基金寄附者は
今回はありませんでした。

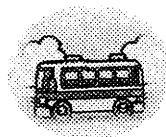
比叡山団参 新靈供養・先祖供養の旅

参加申し込みは秋彼岸で締め切ります！

恒例の比叡山団参を今年も下記により実施します。参加希望の方はお早めにお寺へ申し込んでください。

記

1. 月日 平成24年11月13日(火)～15日(木)
2. 参加費 53,000円
3. 参加者 40名(定員になり次第締め切らせていただきます)
4. 旅程 (暫定案です。若干の変更もあります。あらかじめご了承ください)



1日目：東円寺―御殿場 i c―新東名・名神―関ヶ原 i c―末廣(昼食)―京都東 i c―比叡山
(諸道参拝)

2日目：比叡山(先祖供養)―川魚の西友(昼食)―三方五湖(林道) 梅丈岳展望台(観光)―
海産物ヨックリ(夕食)―教賀 i c―北陸自動車道―休憩南条 SA―加賀 i c―山代温泉 ゆのくに天祥

3日目：山代温泉―九谷焼窯元(昼食)―片山津 i c―北陸自動車道―世界遺産白川郷(昼食)―
白川郷 i c―東海北陸自動車道―休憩―双葉 SA(各自夕食)―東円寺

～お勧めの本紹介～

「101歳―人生あるがままに」

天台座主第255世 渡辺恵進前座主 著

発売・集英社

この本には、仏の教えが分かりやすく書かれています。

「貧者の一灯」という有名な物語は「布施」のあるべき姿を伝えているという文章がありました。一部分ですが、心に残ったので紹介したいと思います。

ある国の王様が、お釈迦様を招いて有り難いお話を聞きました。お釈迦様のお帰りが夜遅くなってしまったので、王様は灯籠を数多く用意させ、お釈迦様の足下を明るくすることにしました。町の金持ち達も数多くの灯籠を献じました。それを聞いた貧しい老婆が、自分も一灯を献じたいと思ったのですが、燃料の麻油を買うお金がありません。道行く人に頼んで恵んでもらったわずかなお金を持って、老婆は油屋に行きました。事情を聞いた油屋の主人は代金よりも多くの油を譲ってあげたのです。お釈迦様が灯籠の明かりをたよりに無事お帰りになった翌朝、王様や金持ちが献じた灯籠はみんな消えていたのに、老婆の灯籠だけはいつまでも消えずにいたと言うお話です。老婆の灯籠は布施のこころの象徴だと言っています。

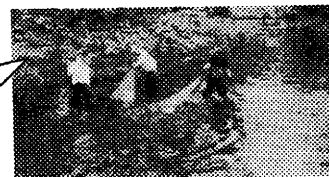


一隅会員募集

清掃活動に

ご協力ください。

待っています。



東円寺には、一隅会という組織があります。東円寺の一隅会員の大半は、東円寺総代のOBです。しかし、OBが全員一隅会員というわけではありません。また、東円寺の総代に任命されると自動的に一隅会員となります。別名東円寺役員という呼び方をしますが、役員さんが中心となって、清掃活動をして下さっています。

「天台宗の開祖である伝教大師の教えである、一隅を照らす運動は、信仰と実践に基づく天台宗の社会啓発運動です。伝教大師は、この世界が浄仏国土となることを真摯に願われました。一人ひとりに菩薩の自覚を目覚めさせ、菩薩の実践を呼びかけます。すべての者が自覚と実践によって仏となることができるということが、天台宗の教えであり、一隅を照らす運動の究極の目的です。」
(天台宗一隅を照らす運動 HP から抜粋)

八海清掃を始めましたきっかけは、東円寺として地域の奉仕活動をすることで、少しでも伝教大師様の教えの一端を実行させていただき、檀信徒の方々にご理解いただきたいという思いからでした。一人でも、多くの方に賛同していただき、会員になっていただきますようお願い申し上げます。

寺庭のつづやき

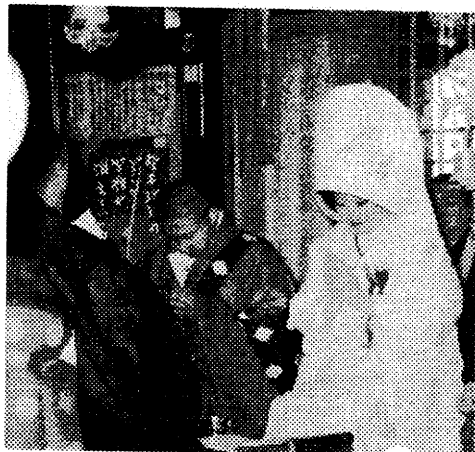
檀信徒の皆様には、平素より東円寺に対しまして、温かなご支援ありがとうございます。また、この度、弟子と娘の結婚に際しまして、多くの檀信徒の皆様からお祝いを頂戴しましたこと改めて感謝申し上げます。

寺庭にとりまして、寺の後継者問題は、東円寺に嫁いだ時から抱えていた荷の重い問題でした。万が一後継者が決まっておらず、住職にもしもの事があつたら、新しく入ってくださる住職に、スムーズに東円寺の引き継ぎが出来るようにと、それだけを考えて生活してきました。明治の廃仏毀釈以後、東円寺は、鷹野の嫡男が後継者となってきました。鷹野が東円寺住職を務めてから130年以上の歳月が流れました。そのような背景から、忍草のお寺は鷹野さんのお寺との先入観が定着してきたのだと思います。

東円寺においても、時代の波に逆らう事は出来ませんでした。何故なら、鷹野家の嫡男が後継者になることを拒んだからです。現在の東円寺の鷹野は忍野村の総本家です。鷹野本家の墓守がいなくなるという問題もありました。東円寺歴代住職は、東円寺の新しい住職が回忌をしてくださいます。しかし、寺族である鷹野家の回忌をしてくれる人がいなくなるということです。寺庭としては、東円寺を優先に考えなくてははいけませんが、鷹野家の嫁でもあります。鷹野家の墓守問題について、答えを簡単に出すことは出来ませんでした。

しかし、お寺の息子として生まれた弟子は、このような背景を理解していました。「東円寺の後継者と鷹野家の後継者として墓守をします。」と言ってくれました。この先、どれほどの困難が待っているのだろうと想像すると、「良かった。良かった。」と手放して喜ぶことの出来ない、親として複雑な思いがありました。しかし、鷹野家のご先祖様は、弟子の言葉をどれほど嬉しく思った事でしょう。弟子の言葉に甘え、鷹野の姓を名乗っていただくことになりました。

今後の寺庭の勤めは、東円寺の基盤を盤石にし、その基盤に立つ弟子夫婦の育成に誠心誠意勤める事だと思えます。また、住職の体調を管理し、元気で長生きしていただきたいと思っています。まだまだ若い二人です。檀信徒の皆様には、温かな目で見守っていただき、お力をお貸し下さいますよう心からお願い申し上げます。



挙式の様子

東円寺法嗣御挨拶

お陰様で、結婚式並びに披露宴を挙行できました。東円寺としましては、檀信徒皆様をご招待し、ご披露させていただきたいと思いましたが、諸事情等々ございました。ご出席いただけない方々に対しまして、大変申し訳なく思っております。

弟子としまして、檀信徒の皆様と一日も早く交流を深めていきたいと思っております。そこで、責任役員と弟子、代表役員である住職と話し合った結果、すべての檀信徒の皆様へ、東円寺法嗣御挨拶の数珠をお配りすることとなりました。

発注しました数珠は、東円寺に届いておりますが、お盆も近づき何かと忙しい日々ですので、すぐにお届けできませんが、お待ちいただきますようご案内申し上げます。



お仲人 妙圓寺池田正賢・恵子ご夫妻と...



上原行昭大阿闍梨様

東円寺子育て地藏大祭



オカリナ演奏の様子

恒例の東円寺子育て地藏のお祭りが、今年も盛大に行われました。前日までの雨が嘘のように上がり、素晴らしい晴天に恵まれました。オカリナの演奏会も六年目を迎えました。多くのリピーターが友達を連れてきて、年々盛大になっています。特に今年は、比叡山より着ぐるみの「照隅さん」も参加してくれました。お陰で、災害募金やバザーの売上が多く、忍野図書館の他、東北の幼稚園などにも寄付金を送る事が出来ました。地藏祭りに来ていただいた方々には、改めて御礼申し上げます。ただ残念な事は、お祭りに来て下さる方のほとんどが県外や近隣の方で東円寺の檀家の方が非常に少ないということです。忍草の方はお寺の役員さん以外はあまりいません。東円寺の子育て地藏尊は正徳元年（1711年）に忍草の善男善女により奉納された石像です。三百年以上忍草の子供達を見守ってきた歴史があります。来年は多くの檀家の皆様がお参りされることを願っております。

地藏尊バザー売上金と皆様からの義捐金の内訳

- ☆一隅を照らす運動救援協力金 ￥27,385
- ☆忍野村教育委員会 ￥26,400
- ☆みずほ幼稚園（宮城県石巻市） ￥30,000



東円寺法嗣結婚式・披露宴が挙行されました

平成24年6月3日、東円寺ご本尊阿弥陀如来の御宝前にて、東円寺責任役員でもあります、東京の成就寺ご住職戒師のもと、結婚式が滞りなく円成致しました。

戒師様より、法嗣夫婦に対して、仏の聖句を賜りました。ご紹介させていただきます。「仏教の信者のために説きなさい。夫婦となられお寺に住む者は、怠けることなく日々努力し、お釈迦様の教えである、法華経（人は誰でも仏になれる。仏とは何か。無量光・無量寿である。無量光・無量寿とは何か。死してもなお、光輝く人。その名は、永遠に語り継がれ死はない。）の意味を檀信徒に広めなさい。」という有難いお言葉です。

また、比叡山千日回峰行を満行された上原行照大阿闍梨様には、披露宴にご参列いただき、ご祝辞を賜りました。阿闍梨様とのご縁は、弟子が比叡山学院で修行をしている時に、当時、比叡山の無動寺にいらした阿闍梨様の法要のお手伝いをさせていただいたことから始まり、そのご縁は今も続いております。現在、阿闍梨様は、滋賀県にあります延暦寺支院の伊崎寺のご住職をなさっております。弟子は、伊崎寺の法要にもお手伝いに伺っており、大変可愛がっていただいております。

阿闍梨様とのご縁は東円寺もあります。3年前に比叡山回参をさせていただいた折りに、講話をお願いしました。その後も、伊崎寺にお参りさせていただき、ご縁は現在も続いております。しかし、ご縁があるからと、来ていただけるお方ではありません。すべて、東円寺の仏様を初めとする、多くの仏縁によってお越しいただくことが出来たのだと思います。

阿闍梨さまからのご祝辞を簡単にご紹介させていただきます。「私はもともと、檀家寺で育ちました。檀家という人は良く知っております。しかし、比叡山での生活は、信者さんを相手とすることです。花嫁である朋美さんは、法俊君の第一号の信者です。法俊君もその信者のために動いてもらいたい。また、朋美さんには、法俊君の一番の応援者となっていただけるよう、よろしく願います。」心温まるご祝辞を頂戴しました。

結婚式と披露宴では、仏様の弟子として、また、東円寺法嗣（跡取り）として誓いの言葉を述べました。その中で繰り返して出てくる言葉は、「仏縁」でした。縁というものは、人間の想像を超越したものです。多くの仏縁に導かれ、そのお力に守られ、檀信徒の皆様にも仏様の教えを広めてくれると信じております。

多くの方々から祝福を受けました。心から御礼申し上げます。今後とも宜しく願い申し上げます。